

予算案と 施策



武蔵野市長
むらかみ もりまさ
邑上守正

市政運営の基本的考え

東日本大震災の経験と教訓をふまえて

未曾有の大災害となった東日本大震災より2年が経過し、被災地では今も復興に向けた取り組みが進められています。本市も市民の協力を得ながら、震災直後より物資・義援金の提供、職員の派遣などを行っており、今後も継続した支援を続けていかなければなりません。

建物の耐震不燃化の促進、地域の高齢者障がい者の安否確認、帰宅困難者対策、避難支援の充実などに取り組むとともに、より実践的な地域防災計画の見直しを進めていきます。

災害時に被害を少しでも小さくするために、自主防災組織や避難所運営組織、そして安否確認避難誘導などの共助の仕組みづくりを支援していきます。

エネルギーのスマート化 — 循環型都市づくりに向けて —

東日本大震災に伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たちは原発事故のリスクの大きさを認識しました。原子力発電に頼らない社会の実現を早期に目指すべきと考えます。

自治体ができる取り組みとして、節電をはじめとする省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入やエネルギーのスマー

ト活用などがあげられます。公共施設や周辺施設とのエネルギーのネットワーク化など、地域地区単位でのスマートシティなどの研究に、産学との連携で取り組んでいきます。

過剰なエネルギー消費型から環境に配慮したスマート(賢い)なライフスタイルにシフトしていくことが求められます。ごみ減量やリサイクルを促進し、省エネルギーに取り組みながら、地球に優しい循環型社会の構築を目指していきます。

武蔵野市らしい平和で美しいまちづくり

本市の、歴史的な背景や特性を基盤とし、「安全安心なまち」、「緑豊かなまち」、「平和なまち」といった基本的な視点を大切に、「武蔵野市らしい」まちづくりを進めていきます。

また、上下水道や道路などの都市インフラのリニューアル、公共施設や駅前整備などを進める中で、都市空間の質的向上を図る必要があります。建物の高さを制限するとともに、緑豊かで美しい街並みを創出していきます。

本年開催予定のスポーツ祭東京2013では、市民の協力のもと、開催地として、おもてなしの心で大会運営を支えていきたいと思えます。

支え合いと地域コミュニティを育む

誰もが地域で安心して暮らし続けるた

めには、さまざまな関係機関や地域住民が連携して、市民の生活を支えることが必要です。地域リハビリテーションの取り組みをさらに進めていきます。

高齢者や障がい者、ひとり親家庭などが地域で孤立しないよう、また、地域の防災防災、青少年の健全育成を進めるためにも、支え合う地域の力がよりいっそう必要です。地域の力を育むため、市民活動を支援するとともに、多様なコミュニティづくりを進めていくことが求められます。

子育てしやすいまちへ — 「すくすくプロジェクト」の展開 —

安心して赤ちゃんを産み育てられる環境づくりなど、若い世代が住み続けられるような施策を積み重ねていく必要があります。待機児童対策をはじめとする保育施策の充実や幼児期の教育の振興、子育て相談支援など、引き続き充実を図ります。

就学前児童に対する関連施策を「すくすくプロジェクト」として充実し、子育て世帯にやさしいまち、子育てのしやすいまちづくりを推進していきます。

活力と創造性のあるまちへ

都市の魅力を再発見し、楽しめるような都市観光を推進し、コンパクトな都市の特性を活かした、歩いて楽しいまちづくりを推進していきます。吉祥寺駅、南北自由通路や南口駅前広場の整備、武蔵境駅北口広場整備などについて、着実に事業を推進していきます。

昼間人口の多くを占める産業従事者にとっても魅力あるまちを目指すとともに、地域産業の振興を図り、バランスのとれた

活力あるまちを目指します。

自治の前進に向けて — 自治と連携の推進 —

中央集権型国家から地方分権型自治システムへと国のかたちが変わりつつあります。地方分権を進めるためには、国から権限が与えられるといった受け身の視点で対応するのではなく、自治体の自治を確立するために必要な権限と財源を積極的に確保する姿勢が大切です。

今後のより自律的な自治体運営にあたっては、二元代表制としての議会と市長の役割をさらに明確化するとともに、本市にふさわしい自治のあり方を追求し、自治体運営に必要なルールの条例化も視野に入れ、市民自治への歩みを前進させます。

持続可能な都市をめざして — 第五期長期計画の着実な推進 —

財政計画では、今後20年間で都市基盤公共施設の更新に1600億円の仕事が見込まれ、時間の経過とともに本市の財政は厳しさを増してくるものと想定しています。

さらに行財政改革を推進するとともに、効果的効率的な公共施設の再編を進めます。健康な都市の形を維持しつつ、市民の新たなニーズに応えられるよう、活力と創造性のあるまちづくりに努めていきます。

本市で培われてきた都市文化や市民活動事業活動などの持ち味を活かして、市民のつながりをひろげ、市民の多様性を力に、市民の意識を行動に変え、市民の力を最大限活かしながら、次世代に誇りを持って継承できる持続可能な都市の実現を目指していきます。

(平成25年度施政方針並びに基本的施策)より要約

予算案と施策のあらまし

確かな未来へ活力と創造性のある都市をつくる予算

○編成方針

平成25年度予算は、「確かな未来へ活力と創造性のある都市をつくる予算」と位置付け、第五期長期計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本に予算を編成しました。

○予算のポイント

- 1 健康・福祉**
地域リハビリテーション推進事業／サービス基盤整備事業／権利擁護事業／障害者実態調査／がん検診受診率向上事業
- 2 子ども・教育**
泉幼稚園跡地利用施設の建設／待機児童対策の推進／情緒障害等通級指導学級の設置／子ども文化スポーツ体験活動事業
- 3 文化・市民生活**
平和啓発事業／地域のつながりの共有とコミュニティセンターの機能の検討／吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策／歴史資料館(仮称)の整備／国体・障害者スポーツ大会推進事業／観光推進事業の強化
- 4 緑・環境**
多様な資源の効率的利用モデル検討／太陽光発電システム等設置・促進事業／新武蔵野グリーンセンター(仮称)建設事業／水と緑のネットワーク事業
- 5 都市基盤**
合流式下水道改善施設設置事業／吉祥寺駅改良整備事業／交通バリアフリー事業／武蔵境駅周辺整備事業／景観まちづくりの展開
- 6 行・財政**
公共施設再編の検討／新しいメディアへの対応・活用による広報の推進

○一般会計歳出予算の 主な性質別構成比率

(単位：%)

区分	構成比率		予算増減率
	平成25年度	平成24年度	
物件費	23.8	24.9	△ 0.9
扶助費	20.4	19.7	7.5
人件費	16.5	17.7	△ 3.1
補助費等	12.3	11.3	12.9
投資的経費	12.3	10.6	19.9
繰出金	9.2	9.4	1.4
公債費	4.3	4.8	△ 6.2

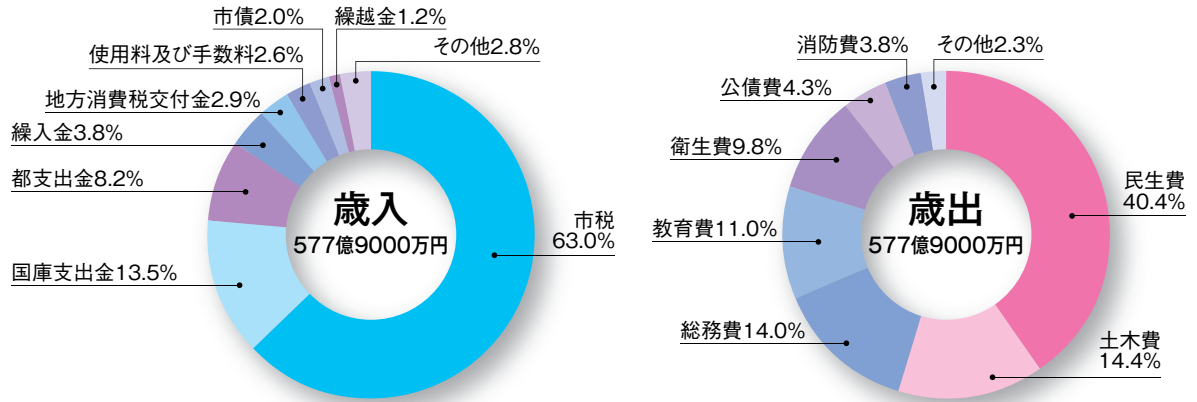
○会計別予算額

会計名	平成25年度	平成24年度	比較	
			増減額	増減率
一般会計	577億9000万円	556億5000万円	21億4000万円	3.8%
下水道事業会計	66億2203万円	41億587万円	25億1616万円	61.3%
国民健康保険事業会計	126億7076万円	121億8245万円	4億8831万円	4.0%
後期高齢者医療会計	31億6075万円	30億6702万円	9373万円	3.1%
介護保険事業会計	99億7025万円	96億6247万円	3億778万円	3.2%
合計	902億1379万円	846億6781万円	55億4598万円	6.6%

一般会計予算 **577 億 9000 万円**

市民1人あたり: 41万6151円
1世帯あたり: 79万8988円

○一般会計歳入・歳出予算構成比



○市民1人あたりの予算額 ()は前年度予算



○複数年度にわたる建設事業

(単位: 千円)

事業年度	泉幼稚園跡地 利用施設事業	新武蔵野クリーンセンター (仮称)整備運営事業	鉄道連続 立体交差 事業	JR吉祥寺 駅南北 自由通路 整備事業	武蔵境駅舎 連続施設 (北側) 建設事業	都市計画道路 3・3・23号線事業 武蔵境駅北口広場 整備事業	合流式下水道 改善事業 (吉祥寺東町 一丁目地内)	雨水貯留施設 設置事業 (北町保育園園庭)
平成24~26	25	25	平成 7~25	平成 24~25	平成 24~25	平成25~27	平成 24~25	平成25~26
年度	25	26以降	25	25	25	25	25	25
事業費	192,636	30,916	135,000	22,565,000	269,662	375,140	261,000	1,421,000
	365,000	2,429,000	608,850	876,850				

※事業費は平成25年度は予算額、26年度以降は予定額

待機児童の解消と保育サービスの充実

◎◎待機児童対策の推進

15億9235万円

<認証保育所の誘致>

今春、吉祥寺南町5丁目に開設する認証保育所グローバルキッズコトニア吉祥寺園の運営費の補助、平成26年度に開設予定のJR武蔵野駅西側高架下認証保育所の開設準備経費の補助を新たに行う。

<(公財)武蔵野市子ども協会による保育園・認定こども園の運営>

市立保育園3園の設置・運営主体を子ども協会へ移管する。事業者の倒産により工事が中断している境こども園は、園舎ができるまでの間、市民会館と児童館にて保育を実施する。北町保育園については定員を拡充し、新園舎での保育をスタートする。



北町保育園完成イメージ

◎認可外保育施設入所児童保護者助成金の拡充

9574万円

認可外保育施設入所児童保護者助成金の対象施設をグループ保育室まで拡充するとともに、補助額の上限を月額3万円に引き上げ、所得階層による助成額を設定する。

地域における防災の仕組みづくり

◎地域における防災の推進

641万円

地域防災計画(平成25年修正)を広く周知するため、関係機関との計画内容の共有、防災ハンドブックの全戸配布、防災シンポジウムなどを行い、地域の防災力を高める。

◎災害に備えた都市基盤の整備

6億1000万円

<防火水槽の設置>

震災時の同時多発火災から市民の生命と財産を守るため、防火水槽(耐震性貯水槽)を4基設置する。

<災害用トイレの設置>

ライフラインが寸断された際に備えて、第三小、第四小、千川小および第二中の4校に各10基の災害用トイレ(だれでもトイレ2基を含む)を設置する。



災害用トイレ

<配水管網整備の推進>

災害時にも安全でおいしい水が安定的に供給できるように、配水管の新設や老朽管の更新などを行い、上水道配水管路の耐震化を推進する。

◎自主防災組織への支援の充実

175万円

地域で活動している自主防災組織に対し、災害時の活動に必要な資機材などの支給および貸与を行う。

◎吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策

153万円

吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会による「吉祥寺駅周辺混乱防止ルール」を検証するため、まちぐるみでの帰宅困難者対策訓練を実施する。



東日本大震災発生当日の吉祥寺駅
提供：(株)JCN武蔵野三鷹

平成25年度

特徴ある事業

◎：新規事業 ○：拡充事業

住み慣れたまちで暮らし続けるために

◎地域リハビリテーション推進事業

487万円

年齢や状態にかかわらず、必要かつ確かな情報や支援を受けられるために、保健・医療・福祉・子育て・教育などの連携を高め、支援体制を充実する。市民や関係機関への講演会や研修のほか、福祉関係者への人材育成事業を行う。

◎サービス基盤整備事業

1750万円

認知症高齢者などが、住み慣れた地域で継続的に生活を送ることができるよう、平成26年度開設に向けて小規模多機能型居宅介護(認知症高齢者グループホーム併設型)事業者を公募し、整備費の補助を行う。

◎家族介護支援事業

1822万円

介護方法などの知識や技術を得たり交流・情報交換をする機会の提供、家族介護用品の支給事業などによる経済的支援など、在宅介護をしている家族の負担軽減のための支援を行う。

◎権利擁護事業

2442万円

判断能力が低下した場合でも、住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、福祉会社による権利擁護事業、成年後見制度の利用支援体制を充実する。

笑顔いっぱい! 地域参加のすくすく子育て

◎泉幼稚園跡地利用施設の建設

1億9264万円

平成26年7月の開園に向けて、泉幼稚園跡地に地域参加型の子育て支援施設を建設する。ひろば機能、グループ保育機能、早朝・夜間・宿泊を含む一時保育サービス機能を展開していく。



◎すくすくスタート事業 /

まちぐるみ子育て応援事業補助金

235万円

<すくすくスタート事業>

妊娠期から乳児期の子育てを家庭を対象として、地域から孤立せず、不安を解消できるような事業を保育園などで展開する。

<まちぐるみ子育て応援事業補助金>

店舗・企業・NPOなどの民間団体によるまちぐるみで子育てを応援する取り組みに対する補助金を創設する。



まちぐるみで子育てを応援

歴史資料館(仮称)の開設に向けて

◎歴史資料館(仮称)の整備

2660万円

市民が利用可能なスペースを備えた、公文書、古文書、民俗資料、その他資料を収集・保存・公開する施設として、旧西部図書館を再整備する。

未来へつなげる下水道の整備

- 合流式下水道改善施設設置事業 **34億4700万円**
合流式下水道の河川の吐口からの越流水の対策を行い、公共水域の環境負荷の低減を図る。
- 浸水対策事業 **6億9095万円**
近年増大しているゲリラ豪雨による都市型水害の軽減を図り、地下水その他自然環境の保全および回復に資することを目的に実施する。
 - ①市立第一中学校に600㎡の雨水貯留浸透施設を設置する。
 - ②吉祥寺北町地区の浸水被害を軽減するために北町保育園建て替えに合わせ約4,500㎡の雨水貯留槽を設置する。
 - ③雨水浸透施設および雨水タンクの設置に対して助成金を交付し、治水、利水、水循環の推進を図る。
- 女子大通り幹線管きょ更生工事 **2億1730万円**
下水道長寿命化計画に基づき、主要な管きょである女子大通り幹線の長寿命化を図る。平成29年度までの5カ年で、女子大通り幹線約800mの管きょの更生工事を行う。



学校の校庭に整備される雨水貯留浸透施設

歩いて楽しいまち・吉祥寺

- 吉祥寺駅改良整備事業 **7億3414万円**
南北自由通路の拡幅・直線化により、駅南北回遊動線の円滑化、まちの骨格軸の形成を図るとともに、北口駅前の歩道上公共空間の整備を行い、回遊性の向上を図る。
 - 吉祥寺駅北口駅前広場機能の更新 **1200万円**
平成25年度末に完成予定である吉祥寺駅改良事業に伴い、吉祥寺駅への来街者およびバス利用者が安全で快適に歩行できる環境を目指し、北口駅前広場の機能更新に関する実施設計を行う。
- ミカレット吉祥寺新設 **4892万円**
京王井の頭線の高架橋下に公衆トイレを設置する。



吉祥寺駅北口イメージ

効率的な行政運営と情報発信力の強化

- 公共施設再編の検討 **84万円**
多くの公共施設の老朽化が進む中、時代のニーズに応えながら市民生活を支える施設サービスを安定して提供するため、公共施設の再編を検討する。
- 財政援助出資団体の在り方の検討 **782万円**
公共課題を解決する主体の多様化を踏まえ、行政や財政援助出資団体が担うべき役割を精査し、必要な見直しを行う。
- 新しいメディアへの対応・活用による広報の推進 **192万円**
市ホームページのスマートフォン端末への対応、ソーシャルメディアのさらなる活用などにより、利便性の向上、発信力の強化を図る。
 - 事務事業見直し・補助金見直し **削減額4億483万円**
事務事業の見直し、職員定数の適正化、補助金の見直しおよび枠配分予算の実施により、4億483万円の経費削減を実現した。

学校の授業が面白い!

- ICTを活用した教育の推進 **1547万円**
小学校12校に書画カメラ・プロジェクター・電子黒板などのICT機器を増設し、中学校2校（モデル校）の普通教室に無線LAN環境を構築し教育用コンピュータを導入する。
 - 学習指導員の配置 **3092万円**
少人数指導、学習支援教室、小一プロブレムへの対応などに学習指導員を配置し、きめ細やかな学習指導の充実を図る。
 - 学校と家庭の連携推進事業 **120万円**
不登校傾向にある児童・生徒に対し、学校・家庭・地域・関係機関が連携して支援を行う。
- 情緒障害等通級指導学級の設置 **3054万円**
学校生活にうまくとけ込めない、学習が思うように進まない子どもたちなどを対象に、普段は地域の学校で学習し必要に応じて通う学級を、井之頭小学校に新設する（平成26年4月開級予定）。



電子黒板を活用した授業

都市観光と地域経済の活性化

- 産業振興計画(仮称)策定支援 **650万円**
市内の産業について、体系的に施策を推進するための方針である産業振興計画(仮称)案を作成するため、策定委員会を設置し検討を行う。
- 小規模企業者等事業資金利子補給事業の強化 **6896万円**
中小企業の経営の安定と事業の発展を図るため、事業資金融資あっせん制度の対象事業者の規模を拡大し、あわせて融資利率などの見直しを行う。
- 観光推進事業の強化 **3825万円**
本市の都市観光の推進体制を強化するため、観光推進機構の独立化(法人化)に対し支援を行う。吉祥寺駅の改良工事に合わせ「まち案内所(仮称)」を設置し、武蔵野市の魅力を発信する。
 - 新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業 **2億5925万円**
平成26年度からの本体工事着工に向けて、設計および工事予定地内の工作物解体・撤去・移設などの工事を実施する。
 - 新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備事業 **1751万円**
施設・周辺整備の検討を進めるとともに、クリーンセンターやごみ処理に関する広報・啓発を目的として、ごみ減量・環境啓発イベントや講座を実施する。



吉祥寺音楽祭ストリートライブ

新クリーンセンターの建設が始まります

- 新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業 **2億5925万円**
平成26年度からの本体工事着工に向けて、設計および工事予定地内の工作物解体・撤去・移設などの工事を実施する。
 - クリーンセンター建て替え後の周辺イメージ
- 新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備事業 **1751万円**
施設・周辺整備の検討を進めるとともに、クリーンセンターやごみ処理に関する広報・啓発を目的として、ごみ減量・環境啓発イベントや講座を実施する。



予算の主要な施策

第五期長期計画の分野別と
基本施策ごとの事業
(一般会計・特別会計含む)

◎：新規事業 ○：拡充事業

青少年の成長・自立への支援

地域子ども館事業	1億2714万円
学童クラブ事業	1億9490万円
児童館運営事業	1592万円
◎子ども文化・スポーツ体験活動事業	192万円

子ども・子育てで家庭を支援する体制・施設の整備

◎泉幼稚園跡地利用施設の建設	1億9264万円
○境こども園運営事業	2億5365万円

次代を担う力をはぐむ学校教育

◎校舎・体育館非構造部材耐震化工事	1億9309万円
○小中学校ICT教育の推進	1547万円
教育相談事業(不登校対策の推進)	7083万円
○特別支援学級の運営	1億655万円

3 文化・市民生活

地域社会と市民活動の活性化

コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動	3億8910万円
◎地域のつながりの共有とコミュニティセンターの機能の検討	300万円
市民活動促進事業	291万円

互いに尊重し認め合う平和な社会の構築

平和啓発事業	266万円
男女共同参画施策の推進	1892万円

市民文化の醸成

◎市民文化会館改修基本計画の策定	578万円
◎歴史資料館(仮称)の整備	2660万円
○観光振興事業	3825万円

市民の多様な学びやスポーツ活動への支援

ひとまち・情報創造館武蔵野プレイス管理運営	4億9738万円
○国体・障害者スポーツ大会推進事業	6369万円

地域の特性を活かした産業の振興

◎都市農業経営パワーアップ事業	750万円
○市民農園維持管理事業	1498万円
◎産業振興計画(仮称)策定支援	650万円
新・元気を出せ商店街事業	6769万円
商店街活性化・商店会組織力強化のための企画提案型補助金	600万円
○小規模企業者等への利子補給等補助事業	6896万円

都市・国際交流の推進

友好都市交流事業	545万円
友好都市アンテナショップ運営事業	500万円

災害への備えの拡充

○耐震アドバイザー派遣事業	667万円
---------------	-------

1 健康・福祉

支え合いの気持ちをつむぐ

災害時要援護者対策事業	461万円
生活保護世帯援護事業	40億9000万円
心のバリアフリー推進事業	25万円

誰もが地域で安心して暮らしつづけられる

仕組みづくりの推進

○権利擁護事業	2442万円
地域リハビリテーション推進事業	487万円
高齢者見守り支援事業	744万円
認知症高齢者支援事業	1659万円
◎障害者実態調査	392万円
○障害者への相談支援体制の強化	9430万円

誰もがいつまでも健康な生活を送るための

健康づくりの推進

◎未熟児養育医療給付事業	2649万円
予防接種事業	3億5730万円
がん検診受診率向上事業	441万円

住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備

◎サービス基盤整備事業(小規模多機能型居宅介護)	1750万円
介護保険利用者負担額助成事業(5%助成)	2880万円
通所サービス利用者食費助成事業(200円助成)	1513万円
障害者グループホーム等給付事業	2億2474万円

2 子ども・教育

子ども自身の育ちと子育て家庭への総合的支援

◎第四次子どもプラン武蔵野の策定	569万円
子ども家庭支援センター事業	3135万円
保育の質向上の取組み	791万円
○認可外保育施設入所児童保護者助成金	9574万円
◎認証保育所2園の誘致	5835万円
○子ども協会立保育園事業	12億8035万円

地域社会全体の連携による子ども・子育て支援の充実

○子育て支援事業	1678万円
----------	--------

- ◎景観まちづくりの展開…………… 100万円
- 景観道路事業……………1億3630万円

都市基盤の更新

- 道路新設改良事業…………… 3億487万円

利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備

- 放置自転車対策業務…………… 2億120万円

道路ネットワークの整備

- 狭あい道路拡幅整備事業…………… 5471万円
- 都市計画道路7・6・1号線(御殿山通り)事業 …… 9175万円

下水道の再整備

- 公共下水道建設事業…………… 9710万円
- 雨水貯留浸透施設設置事業…………… 6100万円
- 合流式下水道改善施設設置事業…………… 34億4700万円
- ◎雨水貯留施設設置事業…………… 6億885万円
- 公共下水道耐震化事業…………… 3000万円
- ◎女子大通り幹線管きょ更生工事……………2億1730万円

三駅周辺まちづくりの推進

- 鉄道連続立体交差事業…………… 3億699万円
- 武鉄中付第1、第2、第3号線整備事業…………… 2854万円
- 吉祥寺駅改良整備事業……………7億3414万円
- ◎駅前高度利用商業地域リニューアルまちづくり基礎調査…………… 800万円
- 吉祥寺駅北口駅前広場整備事業…………… 1200万円
- 都市計画道路3・3・23号線事業…………… 14億2100万円
- 武蔵境駅舎周辺環境整備事業……………2億6200万円

安全でおいしい水の安定供給

- 配水管網整備の推進……………4億6774万円
- 浄水場・取水施設改良工事……………1億5148万円

6 行・財政

市民視点に立ったサービスの提供

- 住民情報システム再構築……………1億5936万円

市民に届く情報提供と市民要望に的確に応える仕組みづくり

- ホームページの運営…………… 1406万円
- 市民と市長のタウンミーティング…………… 112万円

公共施設の再配置・市有財産の有効活用

- 公共施設改良保全整備……………1億3328万円
- 公共施設劣化保全整備……………4億7283万円
- 公共施設再編の検討…………… 84万円

社会の変化に対応していく行財政運営

- 財政援助出資団体の在り方の検討…………… 782万円

チャレンジする組織風土の醸成と柔軟な組織運営

- 市民の雇用創出……………6億8836万円

- 安全・賑わいのまちづくり促進型耐震助成事業…………… 360万円

- 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 2億3886万円
- 防火水槽新設工事…………… 6405万円
- 地域防災計画(平成25年修正)の推進…………… 641万円
- ◎災害時医療対策検討委員会の設置…………… 135万円
- 帰宅困難者対策…………… 153万円
- 災害用トイレの整備…………… 7822万円
- 自主防災組織への支援(資機材等の支給)…………… 175万円

多様な危機への対応の強化

- 生活安全対策(ホワイトイグルブルーキャップ・市民安全パトロール隊)…………… 9917万円
- 消費生活センターの管理運営…………… 1611万円

4 緑・環境

市民の自発的・主体的な行動を促す支援

- 緑の表彰・顕彰制度…………… 58万円

環境負荷低減施策の推進

- 多様な資源の効率的利用モデル検討…………… 400万円
- 二酸化炭素排出削減行動助成事業…………… 1801万円
- 太陽光発電システムの設置…………… 3602万円
- LED街路灯事業…………… 1000万円
- 環境舗装事業…………… 6780万円

「緑」を基軸としたまちづくりの推進

- 公園等建設事業(千川上水整備事業を除く)……………12億1521万円
- 千川上水整備事業…………… 2500万円
- 仙川水辺環境整備事業…………… 7335万円
- 未来へ育て！苗木すくすく大木計画…………… 155万円

循環型社会システムづくりの推進

- レジ袋削減の推進…………… 254万円
- 剪定枝葉資源化事業…………… 1314万円
- 集団回収事業…………… 4728万円
- ごみ減量協働事業…………… 99万円
- ごみ組成分析調査…………… 1221万円
- 新武蔵野クリーンセンター(仮称)建設事業……………2億5925万円
- 新武蔵野クリーンセンター(仮称)施設・周辺整備事業…………… 1751万円

生活を取り巻く様々な環境の変化に伴う

新たな問題への対応

- ◎ミカレット吉祥寺新設…………… 4892万円

5 都市基盤

地域の特性に合ったまちづくりの推進

- 建築物の高さの最高限度の導入…………… 651万円